

本製品は電磁弁ユニットと交換することで、レバーハンドルのみで吐水・止水ができるようになります。本説明書をよくお読みになり、部品交換をしてください。

**安全上のご注意**

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です  
 この絵表示は、「接触禁止」の内容です  
 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

**やけど、漏水をした場合の処置**

- やけど** やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。
- 漏水** 漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

<b>警告</b>	<p>給湯温度は80℃より高温で使用しないでください。</p> <p>80℃より高温でのご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工および接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。</p> <p>通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>寒冷地仕様の場合 水抜きつまみは水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>水抜きつまみをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>電磁弁ユニットや配線接続部、ACアダプター(または電池ボックス)には水をかけないでください。</p> <p>火災や感電の原因になります。</p>	<p>濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。</p> <p>感電の原因になります。</p>

<p><b>警告</b></p> <p>雷が発生しているときは、ACアダプターに触れないでください。</p> <p>感電の原因になります。</p>	<p>ACアダプターを抜くときは、必ず本体を持って引き抜いてください。</p> <p>コードを引っばると、ACアダプターやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。</p>	<p>他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。</p> <p>やけどのおそれがありますので、やけどのおそれがないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。</p>
---------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p><b>注意</b></p> <p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作をしてください。</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。</p>	<p>めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。</p> <p>けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

**取り付け手順 1**

**1 止水確認**

【**警告**】電磁弁ユニットの交換は、止水弁で必ず止水してから行ってください。電磁弁ユニットをいきなりはずすと高温の湯が噴き出してやけどをしたり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- レバーハンドルを開き、湯水の止水弁[2か所]または元栓をしっかりしめます。
- センサーに手をかざして感知させ、吐水しないことを確認します。
- レバーハンドルを閉じます。

[キャビネット内]

**2-1 電源の取りはずし**

- 【ACアダプター仕様の場合】ACアダプターをコンセントから抜きます。  
【乾電池仕様の場合】カバーをスライドさせて開き、電池ボックスから乾電池(4個)を抜きます。

【**警告**】濡れた手でACアダプターや乾電池を抜かないでください。感電の原因になります。

- ACアダプターを抜くときは、必ず本体を持って引き抜いてください。コードを引っばるとACアダプターやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。
- 雷が発生しているときは、ACアダプターに触れないでください。感電の原因になります。

**ACアダプター仕様**

**乾電池仕様**

**2-2**

- ② ハーネス・コード類をワイヤーステッカーからはずします。

③ 【ACアダプター仕様の場合】DCジャックと電磁弁ユニットのコネクターをはずします。  
【乾電池仕様の場合】コネクター(大・小)をはずします。

【**お願い**】DCジャックやコネクターをはずすときは、コード部を持って引っばったり、コードをねじったりしないでください。断線のおそれがあります。

**ACアダプター仕様**

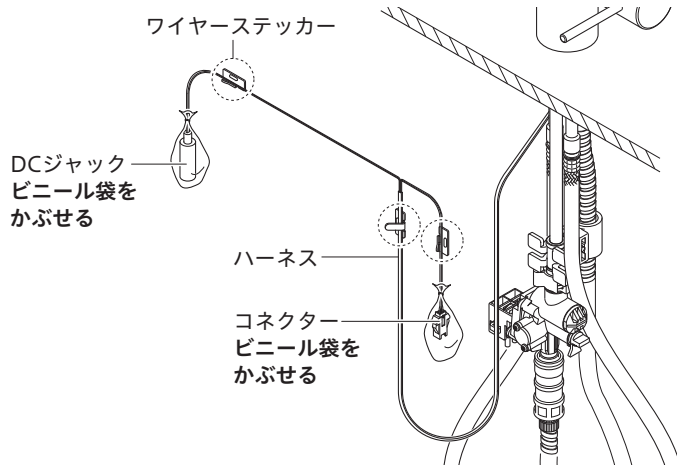
**乾電池仕様**

**3-1 電磁弁ユニットの取りはずし**

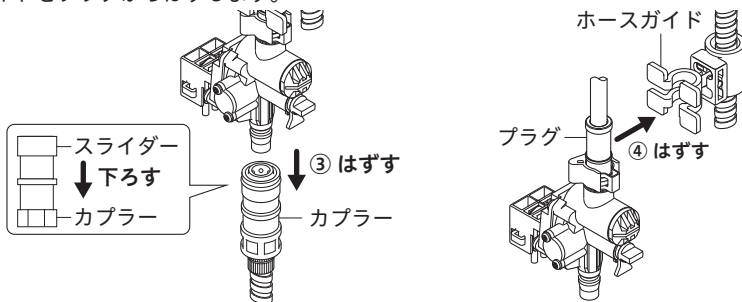
- ① 電磁弁ユニットのコイルカバーのツメ部からハーネスをはずします。ツメ部の上下両側のハーネスを持ち、ストレーナ方向にずらしてはずしてください。

## 取り付け手順 2

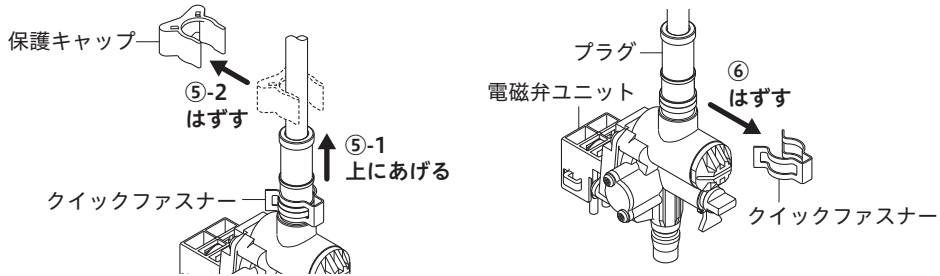
- 3<sup>2</sup> ② DCジャックおよびコネクタにビニール袋をかぶせ輪ゴムなどで留めた後、ハーネスをワイヤーステッカーに留め、壁に固定します。  
 ※ ハーネスは床につかないように壁に固定してください。  
 【お願い】 接続部を湿気などから保護するため、DCジャックやコネクタに必ずビニール袋をかぶせてください。  
 【△注意】 ハーネスとブレードホース・シャワーホース等が接触したり、絡んだりしないようにしてください。発火・ショート・感電の原因になります。



- ③ カブラーのスライダを下におろしてから、まっすぐ引き抜き、カブラーを取りはずします。  
 ※ カブラーをはずす際、ホース内の残水が出る場合があります。水受けトレイ等で受けてください。  
 ④ ホースガイドをプラグからはずします。

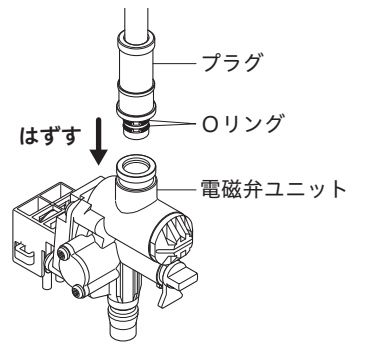


- ⑤ 保護キャップを上押し上げてはずします。  
 ⑥ クイックファスナーをはずします。



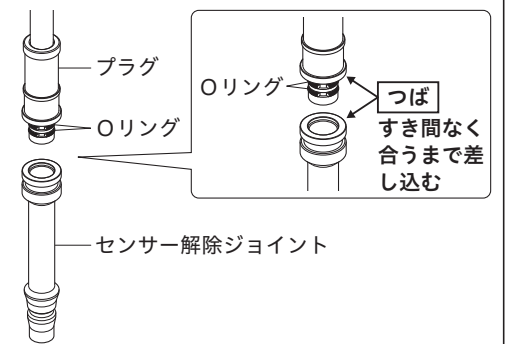
5 ページ

- 3<sup>3</sup> ⑦ 電磁弁ユニットを下へ引き抜き取りはずします。  
 ※ 電磁弁ユニットをはずす際、電磁弁ユニット内の残水が出る場合があります。水受けトレイなどで受けてください。  
 【△注意】 プラグ先端のOリングに傷がつかないようにしてください。  
 傷がつくと漏水のおそれがあります。

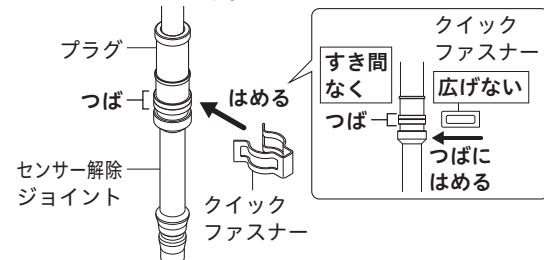


### 4 センサー解除ジョイントの取り付け

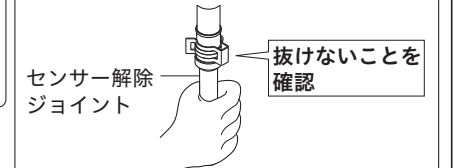
- ① プラグのつばとセンサー解除ジョイントのつばがすき間なく合うまで差し込んでください。  
 【△注意】 プラグ先端のOリングに傷がつかないようにしてください。  
 傷がつくと漏水のおそれがあります。



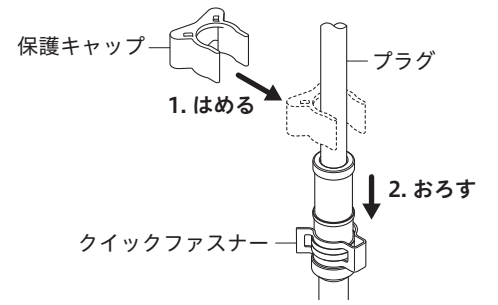
- ② クイックファスナーをプラグとセンサー解除ジョイントのつばにはめます。



【△注意】 センサー解除ジョイントを下に引っぱって、抜けを確認してください。しっかりはまっていないと漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



- ③ クイックファスナーに保護キャップをはめます。この時、保護キャップはプラグにはめてから、クイックファスナーまでおろします。

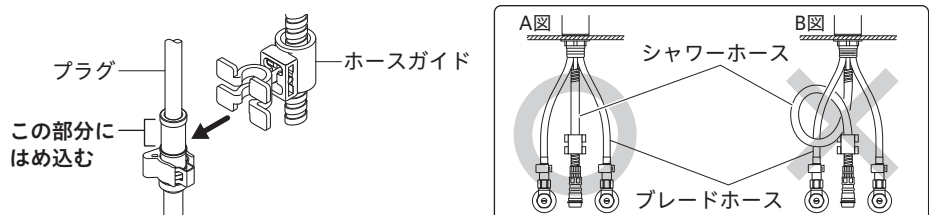


6 ページ

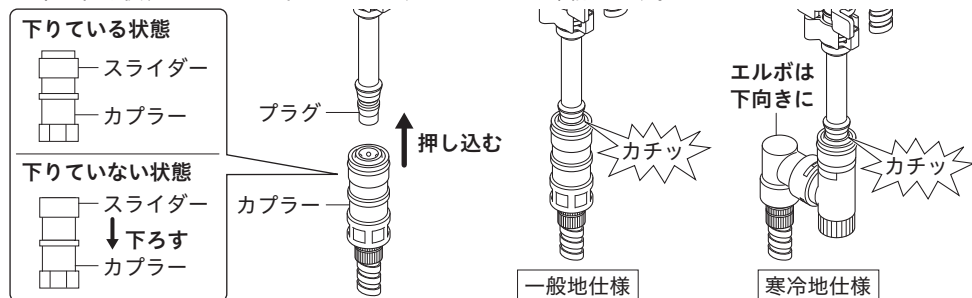
## 取り付け手順 3

### 5 シャワーホースの接続

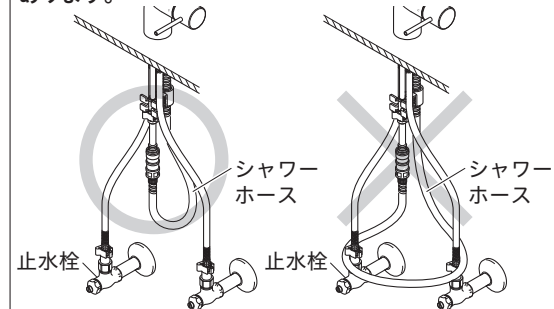
- ① ホースガイドをプラグにはめ込みます。  
 【△注意】 ホースガイドを取り付けた際、シャワーホースがA図のようにまっすぐ垂れ下がるようにしてください。  
 B図のように、ブレードホースに引っかかり、ひねったりしないでください。  
 シャワーホースが破損し漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



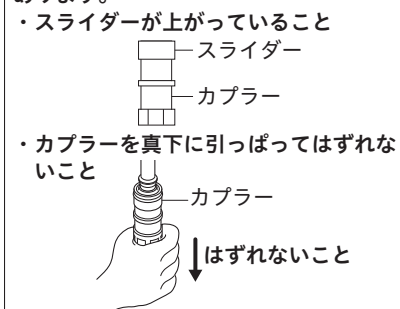
- ② カブラーのスライダを下におろしてから、センサー解除ジョイントのプラグへカチッと音がするまで押し込みます。(スライダがすでに下りている場合もあります。寒冷地仕様の場合は、エルボが下向きになっていることを確認します。) 取り付け後、カブラーを引っぱってはずれないことを確認します。



【△注意】 シャワーホースは止水栓に引っかかないで、給湯・給水パイプの間にぶら下げて取り付けください。シャワーホースが引き出しにくくなったり、ホース損傷により漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



【△注意】 カブラー取り付け後、確実に接続されているか、下記の確認を行ってください。確実に接続されていないと、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



流し台に水受け用タンクがある場合 シャワーホースの出し入れを繰り返しても確実にタンクに収まるようにしてください。(ホースとの接続の銅管部を少し曲げることで調節できます。)

7 ページ

## 取り付け後の点検と清掃

### 通水確認

【△注意】 水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

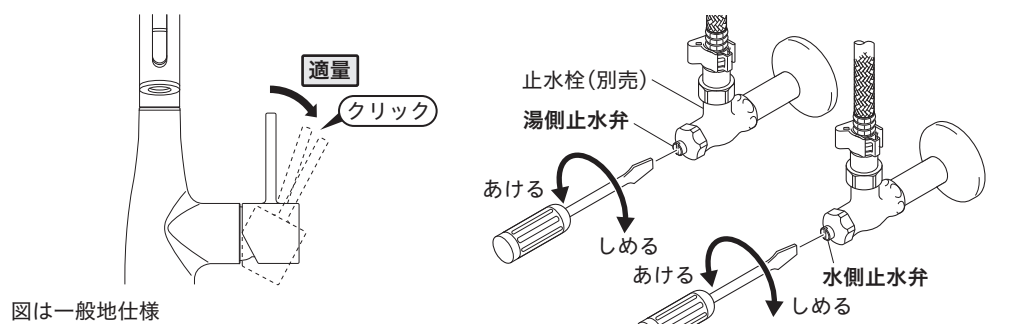
### 水栓本体の吐水部清掃のお願い

水栓本体の吐水部にゴミ等がたまりまると、吐水量が減ったり、きれいに流れなかったりしますので、センサー解除ジョイント取り付け後、必ず清掃してください。

➡ 水栓本体の取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

### 止水栓による流量の調節方法

止水栓による流量の調節方法は下記の方法で行ってください。レバーハンドルのクリック手前で適量(湯側・水側それぞれが5L/min程度)になるように止水弁で調節します。水圧が低く、クリック手前で適量が得られない場合は、止水弁を全開にしてください。



図は一般地仕様

取りはずした、電磁弁ユニット・ACアダプター(乾電池仕様の場合は電池ボックス)はビニール袋などに入れて湿気などから保護し、ご使用になるお客様の方で保管してください。長期間の保管や保管方法によっては、取りはずした部品が再利用できない場合がございます。

- 修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。  
 ☎ 0120-474-161 ※携帯電話からは、0574-55-1191をご利用ください。

水栓の品番をご確認ください	修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています
水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。シールの左下が品番です。 [シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください]	技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用
	部品代…修理に使用した部品代
	出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

- 商品に関するお問い合わせはKVKお客様ご相談センターにご連絡ください。  
 ☎ 0570-099-552

株式会社KVK

インターネットホームページ <https://www.kvk.co.jp/>

8 ページ

405426-01